

# EBPMシンポジウム



## ～施策マネジメントにおけるサイエンスを考える～

EBPM(Evidence-Based Policy Making)とは、「証拠に基づく政策立案」と訳されます。

社会課題が複雑化し、行政への期待役割も高まる中、客観的な証拠に基づく有効な施策立案が求められています。

また、2017年5月の統計改革推進会議の最終取りまとめにおいて、EBPM推進体制の整備が盛り込まれたことを受けて、国内のEBPM推進の機運が高まっています。

そこで、行政の現場におけるエビデンスとの向き合い方について考えてみます。

日時： 2018年11月30日(金) 13:30- 16:30 (開場13:10)

会場： 都道府県会館 101大会議室 (東京都千代田区平河町2-6-3)

主催： 広島県 共催： ㈱ぎょうせい

後援： フィンランド大使館、三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)

### 13:30-14:00 導入部 EBPMの初歩的解説

田辺 智子氏 国立国会図書館(日本評価学会理事)「EBPMの基礎概念 -歴史・本質・留意点-」

### 14:15-15:45 第I部 講演・パネルディスカッション

EBPMに対する考え方や取組について各パネリストから講演の後、パネルディスカッションを行います。

#### パネリスト



湯崎 英彦 広島県知事

#### ➤ 講演「広島県におけるEBPM実装への挑戦」

1990年に通商産業省(現・経済産業省)に入省。1995年にスタンフォード大学経営学修士取得。資源エネルギー庁や通商政策局などを経て退官。2000年、ネットベンチャーの株式会社アッカ・ネットワークスを創業する。2009年、広島県知事に就任。現在は3期目を務める。



津富 宏氏 静岡県立大学 教授

#### ➤ 講演「エビデンスに基づく思考と実践」

1986年に法務省に入省。少年院の教官として、少年処遇の効果研究をきっかけにエビデンスに基づく実践に関心を持つ。2002年から静岡県立大学(2011年に教授昇任)。専門は犯罪学、評価研究。エビデンスを実践の進歩に活かし、実践をエビデンスの進歩に活かすことを重要と考える。



Teppo Turkki (テッポ・トゥルッキ) 氏 フィンランド大使館 参事官

#### ➤ 講演「Experimental Government 実験する政府」

企業や研究機関の技術革新プロジェクトに資金を提供するフィンランド技術庁Takesやフィンランド・イノベーション基金Sitralに長く在籍。2012年、フィンランド貿易イノベーション台北事務所長。2016年9月に、駐日フィンランド大使館の科学技術イノベーション担当参事官に着任。

#### モデレーター



千葉 茂明氏 ㈱ぎょうせい 月刊ガバナンス 編集長

日本教育新聞記者を経て、91年9月(株)ぎょうせい入社。月刊「悠」(はるか)編集部、月刊「農」(あした)編集部・同編集長、月刊「ガバナンス」副編集長を経て、2008年4月から月刊「ガバナンス」編集長。これまでに200以上の自治体議会、350人以上の首長を取材。

### 16:00-16:30 第II部 座談会「行政の現場でEBPMを『具体的に』推進するためには」

- ・取組紹介「広島県EBPM推進ワーキンググループの運営について」 広島県経営企画チーム
- ・シンポジウム参加者との意見交換、質疑応答 (ファシリテータ 千葉茂明氏)

## 実施概要

開催日時	2018年11月30日(金) 13:30~16:30 (開場 13:10)
会場	都道府県会館 1階101大会議室
定員	100名(申込先着順)
参加費	無料
プログラム	導入部 EBPMの初歩的解説 第Ⅰ部 講演・パネルディスカッション 第Ⅱ部 座談会「行政の現場でEBPMを『具体的に』推進するためには」
主催	広島県
共催	(株)ぎょうせい
後援	フィンランド大使館、三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)
その他	英語⇄日本語 逐次通訳あり

## 会場案内

### ■ 所在地

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-3

### ■ アクセス

・東京メトロ有楽町線・半蔵門線

永田町駅:5番出口より 地下連絡通路を経て徒歩約1分

・東京メトロ南北線

永田町駅:9番b出口より 地下連絡通路を経て徒歩約1分(地下1階出入口)

・東京メトロ丸の内線・銀座線

赤坂見附駅:D番出口より青山通り(国道246号)を上がり徒歩約5分(1階出入口)

## お申し込み

- ✓ お名前(必須項目)
- ✓ ご所属(必須項目)
- ✓ 電話番号(必須項目)
- ✓ メールアドレス(必須項目)
- ✓ 一部のプログラムのみご参加を希望される場合は、当該プログラム(記載例:「導入部と第Ⅰ部」、「第Ⅱ部のみ」)

をご記入の上、右記メールアドレス([soukeiei@pref.hiroshima.lg.jp](mailto:soukeiei@pref.hiroshima.lg.jp))までご登録をお願いいたします。その際、件名に「EBPMシンポジウム参加希望」とご記入ください。

メールの受領後、「お申込み受付完了書」をメールで送付しますので、当日ご持参ください。

### お問い合わせ先

広島県総務局経営企画チーム

受付担当: 石田直人、土居亮介 Tel:082-513-2392 e-mail: [soukeiei@pref.hiroshima.lg.jp](mailto:soukeiei@pref.hiroshima.lg.jp)